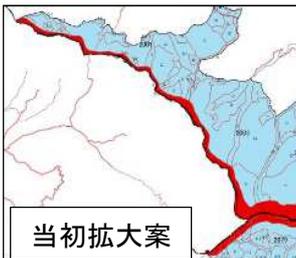


祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会 令和5年度の主な実績

〈会議等開催状況〉

推進協議会総会 【大分県】	令和4年度の実績及び令和5年度の予算案等について協議した。 (5月) ※オンライン(一部対面式)で開催		
学術委員会 【宮崎県】	9月、12月、3月の3回開催。ゾーニング検討や調査研究結果の地域社会への還元方法、緩衝・移行地域自然環境調査助成事業の実施について協議した。		
部会	【竹田市】	環境保全・人材育成部会	8月開催
	【日之影町】	観光・産業振興部会	8月(オンライン)、2月開催
	【高千穂町】	PR・普及啓発部会	8月開催
日本ユネスコエコパークネットワーク (JBRN) 【宮崎県】	・7月総会に出席し、8月に事務局が只見BRから当BRに移管した。 ・3月に運営ワーキンググループを開催し、各BRにおけるブランド認証の取組に関する意見交換等を実施した。		

〈推進協議会事業〉

項目	概要	要
基本方針 I 貴重な生態系の持続的な保全		
調査研究推進事業		
1 緩衝・移行地域自然環境調査(公募型)の実施 (1,399千円) 【宮崎県】	緩衝・移行地域における基礎的な調査研究を進めることを目的に、令和5年度は4件の調査者に助成を行った。	
新 2 祖母山9合目植生調査の実施 (300千円) 【大分県】	祖母山9合目付近において、登山者の集中や鹿による希少植物への食害の状況を把握するために、専門家による調査を実施した。	
3 祖母傾縦走路の水場水質検査の実施 (409千円) 【豊後大野市】	登山者が縦走する稜線付近での水汲み場の調査が平成30年度に実施されたが、それから5年が経過し、登山者に対しより正確で衛生的な水場の情報を提供するため、本調査を実施した。	
4 ゾーニング検討 (319千円) 【大分県】	令和4年度に修正したゾーニング拡大案について、九州森林管理局及び文部科学省等と再協議の上、学術委員会による議論を経て、定期報告書への掲載内容を調整した。 <核心地域> 拡大前 0.65% 拡大後 1.26% <緩衝地域> 拡大前 7.28% 拡大後 10.90% <計> 拡大前 7.93% 拡大後 12.16%	  ※赤が拡大後の核心地域、黄が拡大後の緩衝地域

地域住民主体の保全活動推進事業

新

1 カモシカの保全・
保護啓発
(0円)
【宮崎県】

ユネスコエコパークのPRイベント・展示等でカモシカに関するチラシを配布し、保全・保護啓発に取り組んだ。



2 住民活動団体情
報交換会の開催
(38千円)
【日之影町】

見立地区で活動されている団体のユネスコエコパークの理念に基づいた活動に関する事例発表の後、「地域住民を巻き込む方法について」というテーマで情報交換を行った。

開催日:令和6年3月22日(金)14時~16時

場 所:日之影町役場

参加者:25名



3 地域全体で取組む
環境保全活動
(312千円)
【佐伯市】

「Clean 活動デーin 祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク」と題して、各市町で同時開催。

清掃活動を通して、自然に親しみを持ってもらうとともに地域住民に現状を知ってもらうこと、環境保全意識の向上及び地域住民主体の自然保全活動推進を目的として実施した。

参加者へ記念品として、オリジナルトートバックを進呈した。

開催日:令和5年11月23日(木・祝)

参加者:125名

(佐伯市31名、竹田市16名、豊後大野市21名、
延岡市18名、高千穂町24名、日之影町15名)

ゴミの量:95袋(20ℓゴミ袋)



4 環境保全活動実施団体への支援
(420千円)
【高千穂町】

エリア内より5団体の申請があり、支出した補助金が環境保全のために活用された。

- ①フォレストマントル上鹿川(森林保全活動のあり方について勉強会)
- ②高千穂山の会(登山道整備保全)
- ③見立地区ボルタリング支援会(エリア内の清掃活動)
- ④合同会社トレイルヘッド(アウトドアアクティビティ環境整備)
- ⑤五ヶ所高原ゴマ姫の草原を守る会(希少野生動植物生息地の環境整備保全活動)



基本方針Ⅱ 学術的研究や調査・研修への支援

次世代育成事業

1 6市町交流キャンプの開催
(655千円)
【佐伯市】

エコパークエリアの小学生を対象とし、佐伯市宇目の藤河内渓谷でキャンプを開催。
エコパークに登録された豊かな自然の中で市町の小学生が交流し、エリア内の他地域の自然や伝統に触れることで、心の豊かさを培い、環境保全への関心を高めながら郷土への愛着を醸成していくことを目的として実施した。

1 日目は、テント設営、藤河内渓谷でのキャニオニング、夕食作り、キャンプファイヤー、星空観察を行った。2 日目は、大雨のため予定を変更し、朝食づくりと野外ゲームを行った。
自然の中で子どもたちが主体となって活動し、交流を深めることができた。

開催日:令和5年8月17日(木)、8月18日(金)

参加者:18名

(佐伯市7名、竹田市4名、豊後大野市1名、延岡市5名、高千穂町1名)



新

2 子ども向け普及
動画の制作
(370千円)
【宮崎県】

既存の子ども向け動画を活用して、公式ホームページ内に子ども向け特設サイトを設置した。動画や絵本を掲載するとともに、クイズを設けるなど、親しみやすい内容とした。



3 次世代育成事業
の実施
(1,200千円)
【各市町】

次世代を担う子どもたちを、自然を敬い、地域に誇りを持つ人材に育てることを目的に、各市町が特色ある取組を実施した。

- ・ 佐伯東小学校エコパーク体感事業(キャニオニング)、
- ・ 上堅田小学校エコパーク体感事業(トレッキング)
(佐伯市、200 千円)



- ・ R6.3 月に市内小学生を対象にしいたけのコマ打ち体験や火起こし体験を実施した。
(竹田市、200 千円)



- ・ 親子でエコパーク体感ツアー
令和5年 12 月に祖母山麓のエリアで門松を作るなど、自然を体感するツアーを行い、13 名(4家族)が参加した。
(豊後大野市、200 千円)

- ・ エコパークエリア外となる海岸部の中学校を対象とした講話及び仮設ボルダリング体験(延岡市、200千円)

- ・ 高千穂の夜神楽こども伝承者の集い
(高千穂町、200 千円)



- ・ ボルタリング体験会開催
(日之影町、200 千円)

BR活動情報発信事業

1 子ども向け解説冊子の増刷
(338千円)
【竹田市】

次世代を担う子どもたちに配布するため、「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク解説冊子(漫画版)」を増刷した。



2 シンポジウム等普及啓発活動の実施
(149千円)
【日之影町】

祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの普及啓発のため、「おかげさまで日之影ライド」を開催した。参加者にエリア内を自転車で行ってもらうことで、五感を使ってエコパークの自然を体験してもらうことができた。

開催日:令和5年11月12日(日)
参加者:129名



3 公式HP・SNS情報発信
※保守管理含む
(716千円)
【宮崎県】

ユネスコエコパークの認知度向上を図るとともに、家族連れ等に興味を持ってもらうために、公式ホームページ内にイベント情報ページを設置し、併せて SNS 広告発信を行った。

(協議会公式HP)



祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク
Sobokata Miyazaki and Okata Shogun Park

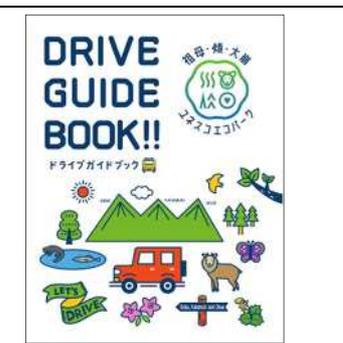


(インスタグラム投稿)
skobr2017



基本方針Ⅲ 自然と共生した持続可能な発展

PR・普及啓発事業

<p>1 グッズ等製作 (276千円) 【延岡市】</p>	<p>イベント等で配布する PR 用ボールペンを 2,000 本製作し、2県6市町に配付した。</p>	
<p>2 パンフレット増刷 (673千円) 【豊後大野市】</p>	<p>各市町のエコパークとしての見どころへのアクセス情報や観光情報を掲載されているドライブガイドブックについて、改訂及び増刷を行った。 印刷冊数:1,500 冊</p>	
<p>3 ブランドイメージの 情報発信 (1,119千円) 【大分県】 【竹田市】 【延岡市】 【高千穂町】</p>	<p>プロスポーツの試合会場にブース出展し、ノベルティ等配布。 1)サッカー:大分トリニータ戦(7月) リーフレット等 120 セットやうちわ千本等を配布し、132 件のアンケートを回収 2)野球:大分B-リングス戦(8月) リーフレット等約 100 セットを配布し、33 件のアンケートを回収 (大分県、230 千円)</p> <p>福岡市での夏山フェスタ出展。 開催日:6月24日(土)、25日(日) (竹田市、296 千円)</p> <p>住民団体等の活動や推進協議会の活動を掲載した「エコパーク便り」を発行し、6 市町で住民に配付することで地域内外への情報発信を行った。 (延岡市、470 千円)</p>	<p>新</p>    

イオンユネスコエコパークフェアを公益財団法人イオン環境財団と共催し、北九州市のイオンモール八幡東で開催した。
開催日:令和6年2月24日(土)、25日(日)
(高千穂町、123千円)



ブランド形成・調査研究事業

1 BR ブランドを活用した米のPR
(0千円)
【大分県】

環境に配慮した農作物のエコパークブランド化へ向けてBRラベルを作成し、佐伯市、豊後大野市の営農法人の協力で、道の駅等でブランド米を試行販売した。



人材育成事業

1 ガイドの人材育成
(350千円)
【佐伯市】

新

エリア内のガイドのスキルアップとネットワークの構築、情報交換などを目的として開催。

1 日目は、地質に関する座学や藤河内渓谷での地質の現地研修、夜はそらのほりでの交流会を実施。2 日目は、そらのほとりのアクティビティ体験、各ガイドの活動紹介、ファーストエイド講習を実施した。

開催日:令和5年11月3日(金・祝)、4日(土)

参加者:12名

(佐伯市6名、豊後大野市4名、大分市2名)



受入環境整備事業

1 エリア内の山のグ
レーディング
(1,450千円)
【大分県、佐伯市】

新

祖母・傾・大崩山系の山歩きを安全に楽しんでいただけるよう、長野県等先進10県及び四国・石鎚山系と同じ基準で、エリア内30山63ルートでのグレーディングを実施。協議会のホームページや紙マップでの周知を行った。

2 入山状況調査
(6千円)
【大分県、各市町】

エコパークエリア内の6ヶ所にカウンターを設置し、入山者数の把握に努めた。

IV 協議会運営経費

他BR視察

定期報告書作成の参考とするため、12月に先駆取組地域である南アルプスBRを視察した。

(422千円)

【宮崎県】

新

推進協議会・学術委員会・部会

学術委員会及び各部会に係る謝金及び旅費を支出した。

(517千円)

【大分県】

事務局運営経費

日本ユネスコエコパークネットワーク(JBRN)負担金や事務用品、振込手数料等を支出した。

(252千円)

【大分県】

祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会 令和5年度 決算(案)

(収入の部)

(単位:円)

項 目	R5年度 予算額(A)	R5年度 決算額(B)	差引 (B)-(A)	備考
負 担 金	12,000,000	12,000,000	0	2県×300万円 6市町×100万円
繰 越 金	2,190,940	2,190,940	0	
雑 入	0	81	81	預金利息
合 計	14,190,940	14,191,021	81	

(支出の部)

(単位:円)

項 目	R5年度 予算額(A)	R5年度 決算額(B)	差引 (A)-(B)	主な支出内容
I 貴重な生態系の持続的な保全	4,209,000	3,196,941	1,012,059	
調査研究推進事業	2,710,000	2,426,800	283,200	
委託料	1,210,000	1,228,200	△ 18,200	移行地域調査助成事業概要書作成業務 祖母・傾縦走路の水場水質検査
補助金	1,500,000	1,198,600	301,400	移行地域自然環境調査助成事業 (30万円×4団体)
保全活動推進事業	1,499,000	770,141	728,859	
報償費	62,000	8,000	54,000	地域づくり情報交換会
旅 費	218,000	28,070	189,930	地域づくり情報交換会
需用費	195,000	50,879	144,121	地域づくり情報交換会 環境保全活動
役務費	0	4,526	△ 4,526	環境保全活動
委託料	374,000	258,400	115,600	環境保全活動
使用料及び賃借料	50,000	0	50,000	
補助金	600,000	420,266	179,734	環境保全活動支援事業補助金 (10万円×5団体)
II 学術的研究や調査・研修への支援	3,629,000	3,427,643	201,357	
次世代育成事業	2,125,000	2,224,930	△ 99,930	
報償費	110,000	0	110,000	
委託料	2,005,000	2,224,930	△ 219,930	6市町交流デイキャンプ 次世代育成事業(20万円×6市町) 外
使用料及び賃借料	10,000	0	10,000	
BR活動情報発信事業	1,504,000	1,202,713	301,287	
報償費	100,000	0	100,000	
旅 費	30,000	0	30,000	
需用費	368,000	91,025	276,975	普及啓発活動
役務費	0	22,198	△ 22,198	普及啓発活動
委託料	1,006,000	1,053,520	△ 47,520	SNS情報発信業務 子ども向け解説冊子の増刷
使用料及び賃借料	0	35,970	△ 35,970	普及啓発活動

(単位:円)

項目	R5年度 予算額(A)	R5年度 決算額(B)	差引 (A)-(B)	主な支出内容
Ⅲ 自然と共生した持続可能な発展	4,492,000	3,873,940	618,060	
PR・普及啓発事業	2,351,000	2,068,250	282,750	
報償費	14,000	16,000	△ 2,000	夏山フェスタ
旅 費	30,000	51,500	△ 21,500	夏山フェスタ
需用費	1,151,000	396,320	754,680	BRグッズ製作(ボールペン、うちわ)
役務費	36,000	0	36,000	
委託料	800,000	1,265,740	△ 465,740	ドライブガイドマップ増刷 エコパークだより作成 外
使用料及び賃借料	320,000	338,690	△ 18,690	夏山フェスタ プロスポーツ会場でのPR
ブランド形成・調査研究事業	335,000	0	335,000	
需用費	335,000	0	335,000	
人材育成事業	350,000	350,000	0	
使用料及び賃借料	10,000	0	10,000	
委託料	340,000	350,000	△ 10,000	ガイド研修
受入環境整備事業	1,456,000	1,455,690	310	
委託料	1,450,000	1,449,690	310	祖母・傾・大崩山系グレーディング調査
使用料及び賃借料	6,000	6,000	0	入山状況調査
Ⅳ 協議会運営経費	1,860,940	1,190,520	670,420	
他BR視察	700,000	421,320	278,680	
旅 費	700,000	421,320	278,680	ユネスコ定期報告に向けた現地視察(南アルプスBR)
推進協議会・学術委員会・部会	560,000	517,005	42,995	
報償費	360,000	308,942	51,058	委員報酬
旅 費	200,000	208,063	△ 8,063	委員費用弁償
事務局運営経費	600,940	252,195	348,745	
需用費	50,000	23,031	26,969	消耗品、コピー代
役務費	50,000	68,104	△ 18,104	振込手数料 ほか
使用料及び賃借料	15,000	61,060	△ 46,060	レンタカー借上料 高速道路使用料
負担金	100,000	100,000	0	JBRN負担金
予備費	385,940	0	385,940	
合計	14,190,940	11,689,044	2,501,896	

※予算の執行状況に応じ、各項目間相互に流用できるものとする。

収入 - 支出	0	2,501,977	※ 14,191,021 (収入) - 11,689,044 (支出)
---------	---	------------------	-------------------------------------

監査報告書

祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会

会長 杉浦 嘉雄 殿

1 監査対象

令和5年度祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会の会計及び会務にかかる経理関係帳簿及び証拠書類

2 監査年月日

令和6年5月1日

3 監査意見

令和5年度推進協議会会計及び会務に係る諸帳簿、証拠書類を照査のうえ、その内容について監査した結果、帳簿、証拠書類も記帳整備されており計数は正確であることから、適正なものと認められる。

令和6年5月1日

監事 豊後大野市長

川野 文 敏



監事 日之影町長

佐藤 貢

